

場所：井の頭自然文化園 動物園(本園) 資料館集会室

定員：60名 参加費：無料

講演の内容は、高校生以上を想定した内容となりますが、どなたでもご参加いただけます

動物の進化をひもとく

都会に暮らす動物たちの遺伝的多様性

講演1「井の頭自然文化園で飼育する都会の動物」

講師：大西一馬(井の頭自然文化園 飼育展示係)

井の頭自然文化園は、日本産動物の飼育展示に力を入れています。そのなかで、タヌキやキツネ、ハクビシン等、都会に暮らす動物たちも展示しています。当園の動物たちの紹介を通して、東京に暮らす動物たちについて知ってもらいます。

講演2「動物の進化をひもとく

—都会に暮らす動物たちの遺伝的多様性—

講師：増田隆一(北海道大学大学院理学研究院 教授)

私は、日本列島に生息する哺乳類がいつ、どこからやってきたのか、そして、どのように進化してきたのか、という疑問を解き明かすことを目標にして、研究に取り組んでいます。そんな動物の中で、古くから民話や物語に登場するキツネやタヌキが最近では都会でも見られるようになりました。かれらは、どのように都市空間を移動し集団をつくっているのでしょうか？また、日本で分布を広げている外来種ハクビシンはどこからやってきたのでしょうか？都市で見られるそんな野生動物への疑問に答えるため、遺伝子の違いや多様性に着目した研究からわかってきた成果を紹介します。



<増田隆一 プロフィール>

1960年生まれ。北海道大学大学院理学研究科博士課程修了(理学博士)。米国立がん研究所研究員、北海道大学助手、准教授を経て教授。専門は動物地理学、分子系統進化学。主な著書に、『動物地理の自然史』共編著(北海道大学出版会)、『ヒグマ学入門』共編著(北海道大学出版会)など。

【応募方法】 往復はがきまたはEメールでお申し込みください。
応募者多数の場合は抽選をおこない、当落にかかわらずお知らせします。

○往復はがき

希望者全員の氏名(ふりがな)・年齢、代表者の住所・氏名・電話番号を明記し、返信面に代表者の住所・氏名を記入のうえ、以下のあて先までお送りください。

〒180-0005

東京都武蔵野市御殿山1-17-6

井の頭自然文化園「開園記念日講演会」係

○Eメール

inokashira-kouen2016@tokyo-zoo.net あてに、件名を「開園記念日講演会」とし、本文に希望者全員の氏名(ふりがな)・年齢、代表者の住所・氏名・電話番号を記入してお送りください。お申し込みの際は、@tokyo-zoo.netからのEメールを受信できるように、迷惑メールフィルターやメールソフトを設定してください。(特に、携帯電話からお申し込みの方はご注意ください。)なお、自動返信等による確認メール送信はありません。

【締切】2016年5月12日(木)到着分まで有効

【締切】2016年5月12日(木)送信分まで有効

井の頭自然文化園

【開園時間】午前9時30分～午後5時(入園は4時まで)

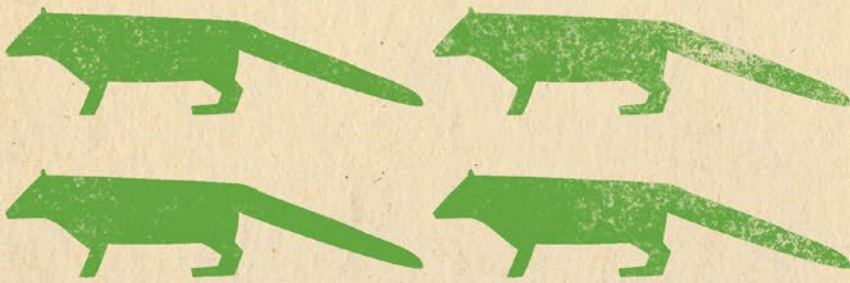
【休園日】毎週月曜日(祝日や都民の日に当たるときは翌日)、12月29日～1月1日

【入園料】一般 400円 65歳以上 200円 中学生 150円

*小学生及び都内在住、在学の中学生は無料

【お問合せ】武蔵野市御殿山1-17-6 TEL:0422-46-1100

<http://www.tokyo-zoo.net/>



井の頭自然文化園は、5月17日に74回目の開園記念日を迎えます。また、5月22日は、国連が定めた国際生物多様性の日でもあります。そこで、今回、井の頭自然文化園で飼育や展示に力を入れている日本産の中型哺乳類を例に、進化と生物多様性に焦点をあてた講演会を開催します。

講演の内容は、高校生以上を想定した内容となりますが、どなたでもご参加いただけます。ぜひご参加ください。

